

意見	回答
<p>ごめんなはり線は時間が正確で大量輸送が可能。東部交通は小回りがきくという特性がある。</p> <p>共存する為には、ごな線の各駅にバス・各市町村コミュニティバスが接続できれば、住民の生活の足を守れるのでは。それには行政支援の継続と、人材確保が急務。学生が高知市内に遊びに行く際の運賃割引制度など。またLCCが新規就航した空港からの移動時間の強み、多くの観光客に対応するには、のいち駅・後免町駅・空港間のバスによる乗り入れと安田での馬路方面への接続。安芸市の場合、東部交通の停留所は県立あき病院に乗り入れ、安芸駅と併せた2ヶ所？が最も北側に位置する。</p> <p>市役所庁舎が移転した場合、延長する事は難しいと考える為、市役所・安芸駅・商店街・病院等の場所を巡回する元気バスの運行が必要。また東川地域で今月伺うと、現在の運行本数を維持すれば住民がその時間に合わせる事ができると。現在デイサービスは週1～2回、2ヶ月に1回安芸病院の先生の訪問受診があるそうだが、介護・医療・福祉サービスの維持を考えると、道路の1.5車線化・災害対策も重要な課題。</p> <p>現在休校中の学校跡地活用として農業×体験観光、木質バイオマス環境エネルギー循環と合わせた、持続可能なモデル地域に、県や国への働きかけを。高校に関しては、三菱グループの方を招いた商人育成講座の開催か。</p>	<p>ご指摘のとおり、鉄道(ごめん・なはり線)、路線バス(高知東部交通)、コミュニティバス等の各種交通モードが共存できる公共交通ネットワークを構築することが、地域公共交通の維持・発展に不可欠であると認識しております。</p> <p>本計画では、基本方針1として「地域内の公共交通(バス、鉄道、タクシー等)が連携し、『使いやすい』公共交通を目指します」という方針を掲げております。</p> <p>ご意見いただいた内容を踏まえた施策については、「既存バス路線網の改善」、「地域内と高知龍馬空港を結ぶ新たな輸送方法の検討」、「児童・生徒向けの運賃割引制度の導入と広報」、「交通結節点での乗継利便性の向上」、「人材確保に向けた広報・啓発」などの実施項目の中で進めてまいります。</p> <p>あわせて、公共交通施策はまちづくり・観光・医療・教育などといった他分野と連携しながら進めていくことも重要と認識しており、本計画でも高知県や各市町村の上位・関連計画で示されている地域の課題や方針を踏まえた検討を行っております。</p>